

市長と語る会(総合計画市民検討協議会の皆さんと高野市長との懇談会)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	高齢者が増え、在宅介護が主流になる中で、在宅ホスピス、または地域包括センターや介護予防センターなどでのホスピスケアができるといいと思います。	終末期の医療については非常に大事な視点と認識しているが、在宅でのホスピスは、まだ先行きが見えない状況にあると思っている。また、施設でのホスピスは、現在市内で実施している医療機関がなく、医師会とも連携する必要があると考えている。
2	消防団員として、市民と協力して防災に力を入れていきたいと思うが、もう少し消防団と消防庁とが密接に連携できればもっと迅速かつ的確に動けると思う。	府中の消防団の組織力や防災等への対応力は、ほかの自治体に勝るとも劣らない力を持っていると思う。また、市民の皆さんに自助・共助の意識を持っていただけるよう徹底していきたい。消防庁と消防団の関係はスムーズにいらっていると思うが、連携がよりスムーズになるよう、消防署長にお願いをしていきたい。
3	緑の保全を考えたときに、いまある緑、小さい緑の保全・活用が大切であり、その一環として、農地の保全に取り組むべきである。 また、府中基地跡地をどのように保全するのか。	農地の保全については、農家の生産性を担保するための側面支援が大事だが、相続により生産緑地の買取請求が出てきても、財政的に厳しいために買取できない状況がある。少しでも農地が残るように頑張っていく。 府中基地跡地は、東京都に対して、府中の森公園と一体となるような公園の整備を要望している。
4	「協働」については、行政と市民の信頼関係がなければ進まない。その基礎づくりとして、普段から、双方の意見交換やコミュニケーションなど交流を進めていく必要がある。	4月から市民協働推進本部を立ち上げたので、今年度に方針を決める。また、市制60周年における発信や再開発に伴う協働の拠点づくりを進める。また、市民から信頼される職員でなければ協働は進まないの、しっかりと進めていく。
5	農家では、相続が起こると、税の負担が重く、畑を売らざるを得ない。少しでも農地が今の状態で残るような仕組みづくりをしてほしい。	市として特別な取組みを何か考え出せれば一番いいと思うが、相続税に対応するための都議会での研究の状況が伝わってきていないので、確認し要望したい。
6	田畑を潤すための用水路について、排水路と混同し、生活上の排水やごみを廃棄する市民も多い。市民に対する啓発が必要だと思う。	用水路の大切さについては、機会を捉えて、市民全体に啓発ができるような広報等をやりたいと思う。
7	用水路の形態としてU字溝及び暗渠が殆どであるため、生態系が変化している。本来の生態系に配慮した環境保全が必要であると思う。	U字溝を外す、暗渠を開渠にすることは難しいが、残されているところや親水路として整備した箇所を大切に使う、環境学習にしっかり取り組んでいくことが大事と思う。

市長と語る会(総合計画市民検討協議会の皆さんと高野市長との懇談会)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
8	街路樹について、在来種を大事にする取組をしてほしい。	街路樹については、管理のしやすさ等から外来種が好まれて使われているようだが、今後、新しい道路を作る時には、ご意見を参考にしていきたい。
9	国の天然記念物であるケヤキ並木については、張った根の上部には車を通さない対策が必要であり、木の成長を見越して計画を立てるべきである。	けやき並木については、東西に縦の道路を整備し、並木の車両通行を止める、モール化の構想があるが、中心市街地であり商業の活性化も大事な課題なので、そこにも配慮しながら、将来的には車の通行がなくても済むようなまちづくりを進めていきたいと思っている。
10	近隣中学校の防災訓練に参加したが、従来と異なり、被災した周辺住民が学校に避難してきたことを想定した訓練が授業の一環として行われていた。このような訓練を他所の中学校にも広めていただきたい。	ご参加いただいた形態で各学校が実施しているかどうかについては、教育委員会に確認する。やっていないということであれば、各校で実施するよう伝える。 また、市の防災訓練も参加型に内容を変えている。
11	文化センターには備蓄がないが、災害時に大勢の市民が避難してくることを想定した備蓄をどのように考えているか。	文化センターには、市職員と来館者を想定した備蓄を進めるが、避難所にはならないので、学校に避難いただくよう周知していく。
12	防災行政無線は聞こえづらい場所がある。そのための対策を考えていく必要がある。	防災無線は、風向きや周囲の建築物の関係で聞こえづらいこともあり、これに頼り切るのではなく、メール配信サービスやエリア内の携帯電話への緊急メールなど、新しい情報伝達手段を併用していきたいと考えている。
13	非常時には自治会の活動が重要になっているが、どのように参加すればよいのかと思っている。	自治会活動は防災・減災という意味では非常に大事だと思っているので、加入世帯が増えるよう、市としても努力していかなければいけない。現在の加入率は62～63%、未加入世帯は4万～5万世帯に上り、有事の対応が非常に難しいので加入率を上げたい。
14	府中は文化施設が充実しているので、その良さを生かして、市民が文化・芸術に親しみ、子ども達の感性を育むような施策を充実してほしい。「府中の森文化まつり」を拡大し、郷土の森も含めた、市民文化の日のような催しを開催し、多くの市民が文化・芸術に親しむような機会があると良いと思う。	「府中の森文化まつり」は素晴らしい文化まつりであると感じた。現在、市ではイベントの見直しに入っており、集約という考えもあるので、郷土の森博物館とも連携した一大文化まつりのアイデアは参考にさせていただきたい。また、子ども達の感性を磨き、心豊かな成長を育むためにも、美術館や博物館などの宝を生かしていくことが非常に大事だと思うので、そのようにしていきたい。

市長と語る会(総合計画市民検討協議会の皆さんと高野市長との懇談会)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
15	国際交流に関して、子どものときに国際感覚を身につけられるような交流の機会があったらよいと思うし、近隣諸国に対する認識や理解を持つためにも、歴史教育の中でも近現代史の部分がしっかり学習されるようになると思う。	府中にも近隣諸国の方が少なからず住まわれており、市民レベルで親しくお付き合いをさせていただこうと心がけている。教育委員会とよく話をしていきたいと思う。
16	昼間に災害が発生した場合には、自宅や子ども達に近いところにいる女性が自助・共助を担うことが多いと思うので、防災計画や防災教育等に、女性の視点がいかされればよいと思う。	女性の地域におけるネットワークが災害時の共助の源になるのではないかと思う。また、避難所の運営における女性の視点での配慮ということも大事だと思う。
17	生涯学習センターは、今年度から指定管理者制度に代わったが、市と管理者と利用する市民がしっかり話をし、協働を進めていければよいと思う。	民間の事業者に運営を委ねていることで、市の直営よりもいろいろなノウハウや発想が豊富にあるので、期待をしている。また、うまくいかない部分もあろうかと思うので、ご協力をお願いしたい。
18	府中は歴史的に良いものがあるので、オリンピック開催に合わせて、外国人をはじめ多くの観光客に来てもらえるように、市庁舎を、外観的にも歴史的なイメージを思わせるものにして、一体の街並みになるよう考えて頂ければと思う。 また、酷暑を乗り切るためにも、歩いたり自転車に乗ったりするとき木陰があると良いので、木々を増やしていただきたい。	国分寺市とは、観光部門同士で連携して、ともに歴史ある町の特徴を出していく必要性を認識している。府中本町駅東側の遺構は、3～4年の間に、何らかの発信ができる施設を整備するために、協議会で検討いただいている。市庁舎は、周辺自治会にも加わっていただいた検討協議会のほか、議会や職員において検討を進めているが、これについては7年後に間に合わない可能性もあり、貴重なご意見として承る。
19	駅前再開発に合わせて新しいものがどんどんできていくのは賛成だが、一方で、古き良きものを生かしていく良さもある。例えば、高円寺の商店街は、古くてテナント料が安い建物に若い人がたくさん入って賑わっている。府中も、新旧融合の中で、若い人たちが活躍できる場が提供され、活気あふれるようなまちづくりがされていくといいなと思う。	駅前再開発ビルについては、権利変換が終了し、家賃がかなり高い所になると思う。市内には商店街が50あるので、市としても若い起業家やNPO団体を側面から支援することによって、まちの中心以外の活性化について研究していきたい。

## 市長と語る会(総合計画市民検討協議会の皆さんと高野市長との懇談会)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
20	府中駅の第一地区の再開発について、設計図では駐車場入口がフォーリス伊勢丹と同じ位置になるようであり、大渋滞が懸念される。しかし、組合と周辺商業施設間での情報共有などもない状況である。市長はこの状況をどのように考えているか。	現時点での設計は長年議論を積上げた結果地権者の合意に至ったものであるため、変更できないと考えている。そこで、ハードではなくソフト面で渋滞対策をしていかなければと考えている。東側の縦の道路の下の駐車場をうまく使ったり、パークアンドライドなど全体を見てまちづくりを進めていきたいと考えている。
21	環境保全には人手がかかり、現在、その作業はボランティアに支えられているが、大半が年配者であり、体力的にかなりきつく、また十分に手が回っていない状況にあるが、市としてどう考えているか。	市民との協働には、この様な現実を何とか解決したいという思いもある。何とか多くの市民の皆さんが、このようなことに協力してもらえるような体制づくりを進めていくしかないと思う。予算も十分に付けられればよいが、限度があるので、皆さんと一緒に考えていきたい。
22	地域にいる定年後の人材を、有料ボランティアとして地域貢献に取り込めるような受け皿があれば、経費をかけずにいいものができると思うので、専門部署を作って検討してほしい。	地域におられて、いろいろな能力・技術・経験を持った人材の活用については、進めていかなければいけないと認識しているので、いただいたご意見を参考にして、進めていきたいと思う。
23	地域の子ども会がなくなり、今では、学校の校外という形で地域における育成活動が行われているが、この区域が、自治会の区割りと異なっているために不便を感じているので、学校と話し合って区割りを変更することはできないものか。	双方の区割りを合わせるということは難しい面もあるが、できる場所もあるかも知れないので、考えさせてほしい。
24	電柱のない、まちづくりを進めてほしい。	電柱の地中化については、お金との兼ね合いになってしまうが、できるだけやっていきたいと思う。
25	行財政改革の事務局職員は、大変な苦勞をしている。短期的でも、担当職員数を増やすことはできないか。	事務仕事が大変多くなっているため、ある部門を民間にお願いするなど、パラダイムシフトが必要と考えている。
26	政策には優先順位を付けて進めてほしい。	優先順位も考え、今までと同じような仕事ではなく、選択と集中というキーワードで事業をどんどん進めていかななくてはいけない。
27	府中市よりも大変な自治体もあるが、そういう自治体ほどいろいろな政策を実行しているので、職員が、そのような情報を得て、いいところをどんどん取り入れていけるような体制をとってほしい。	先進事例を参考にできるよう、職員の研修についても意識していきたい。



市長と語る会(総合計画市民検討協議会の皆さんと高野市長との懇談会)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
28	個人の責任で公共施設の管理に関わる、アドプト制度には大変期待をしている。公のことに市民が関わることにより、より地域に対する愛着を持っていただけたらと思う。	アドプト制度は新しい取り組みなので、ぜひ進めていきたい。
29	府中の良さをもっと外にアピールしていくブランディングが大事だと思う。それにより新しい市民も増え、市内での起業も進む。高齢化が進むなかで、若い起業家が地域で活躍できるようになることは非常に大事なことだと思う。	多摩地区は全体的に西の方から人口減少傾向にあり、若い方は職住接近で都心部を選ぶケースが多くなっている。オリンピックで臨海部のインフラが整備されるとますます多摩まで帰ってくる意味がないということになってしまえばいけないので、ブランド力をつけていかなければいけないと思っている。
30	独り暮らしの高齢者は、自分が倒れたときに救急車も呼べないという不安がある。市として対策を考えてほしい。	高齢者の見守りについては重要なテーマと認識している。孤独死を避けるために機器の貸与などの事業を進めているので、その周知・活用を図っていきたい。また、郵便局やごみ収集業者に対しては生活の変化について意識するようお願いしており、地域全体で見守りを続けていかなければいけないと思っている。
31	通学路を歩いていると犬のふんがすごい。市民個人のモラルとはいうが、市として何かできないのか。また、通学の時間帯に車を飛ばしている方がすごく多い。安心安全で子ども達が学校に通える環境にしていきたい。	犬のふんについては、市としては広報するしかない。犬のふんだけでなく、たばこのポイ捨て、ごみの放置、河原でのバーベキューの放置など、モラルの低下はさまざまあるが、広報していくしかないので続けていく。
32	市長と市民が語る会については、子育て世代とも持っていただきたい。幼稚園とか学校とかにぜひ出向いていただきたい。	子育て世代の方々と色々な意見交換をすることも大事だと思っている。